

天竜川水系伊那圏域河川整備計画(原案)に関する公聴会での意見及び県の考え方

項目	意見・質問	意見・質問に関する県の回答・方針等
治水	<p>小沢川について、現在計画されているさらに100mくらい上流の左岸があまり安定した状況でないので、護岸状況を調べて、その対策を要望したい。</p> <p>さらに、上流の荒井区と小沢区との境の辺りの小沢川を見ると、小さな子供でも降りてしまうくらい河床が上っている。大きな洪水があると決壊、氾濫の恐れがあるので、掘削による河床の低下を進めて頂きたい。</p>	<p>小沢川については下流より護岸の整備を進めておりますが、上流につきましても護岸等の河川構造物の変状、異常の早期発見のため、河川巡視を行うとともに、河川管理上支障をきたす場合は速やかに修繕等必要な対策を行います。また、土砂が堆積し洪水の流下の阻害となる等、治水上の支障となる場合は環境に配慮しつつ堆積土砂の除去、立木伐採、草刈り等に必要な対策を河川愛護団体と協力して行ってまいります。</p>
	<p>大沢川については昔から何代にもわたり荒れてきた川です。山が浅く急なため降水量そのものがあまり時間無く水嵩が増してきます。</p> <p>整備計画にも記されている年号・回数その都度に襲われ氾濫による甚大な被害が発生しています。「手で触れて心で感じていい思い出を残そう」を合言葉に子供が大沢川の自然の中で遊ぶ姿を見ることを住民は久しく望みます。下福地区民が、未来を背負う子供たちが、安全で安心な暮らしが出来るよう、住民参加の整備計画と早期工事の着工をお願いしたい。</p>	<p>大沢川については、現時点では優先的に整備を実施する河川には位置づけておりませんが、流域の社会情勢の変化、自然状況・河川状況の変化、地域の意向等を適切に反映できるよう努めて参ります。</p>
	<p>大沢川については川幅が狭く、大雨が降る度に川幅一杯に水が流れ洪水の発生危険性が非常に高いと言われております。</p> <p>河川計画、整備計画というのやはり治水・利水或いは環境等を勘案して計画を立てるということは、現在の経済状況だけではなく、長期的に様々な視野にたつての計画が必要と考えます。そういう視線に立って、その環境を踏まえた整備計画を考え、他の河川についても計画の中に是非入れて頂きたい。</p>	
	<p>天竜川について600m³/s放流を前提とした500m³/s放流の暫定整備について、図示では右岸側の根切りをして根固工を行う計画であるが、600m³/s放流の整備をする段階で手戻りになると思う。維持管理的な整備手法でも可能ではないか。</p>	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、詳細な計画に際しては、既存の堤防や護岸施設を極力利用しつつ、維持管理的な整備も検討しながら、安全性を確保する改修を実施してまいります。</p>
	<p>天竜川について、今まで関係地区と400m³/s放流について、十分な協議をして進めてきているので、今後、実施計画に際しては、関係の地元住民と十分な協議をして理解を得た上で進めて頂きたい。</p>	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、詳細な計画に際しては、関係地元区に十分な説明を行なったうえ、効率的・効果的な改修を進めてまいります。</p>
	<p>天竜川について、将来は釜口水門からの放流は600m³/s対応ですが、下流はそれ以上の流量なることが当然ありますし、600m³/sを受け入れてもらうという整理が必要になると思います。下流についても是非積極的に対応して頂きたいと思います。</p>	<p>天竜川の整備については、下流の国の整備計画と整合性を図り、概ね30年間の期間で、釜口水門からの放流量500m³/sを安全に流下させることのできる計画としています。</p>

天竜川水系伊那圏域河川整備計画(原案)に関する公聴会での意見及び県の考え方

項目	意見・質問	意見・質問に関する県の回答・方針等
治水	駒沢川について小野川合流点52m ³ /sを前提とした上、中流域の護岸工事、築堤工事や国道153号線に架かる鴛鴦橋の架け替え等も見通した抜本的な河川整備を早期に実現出来る事を切望しております。	駒沢川については30年に1回程度の確率で発生すると予想される降雨により生ずる洪水(小野川合流点で1秒間につき52立方メートル)に対し、護岸工事や築堤工事及び橋梁架替により、流下能力の確保を図り、辰野町小野地区において家屋等への浸水被害を防止することを目的として実施してまいります。
	小野川について災害後の改修工事で、本当の欠損部分、破損部分の局所的な改修工事に終始し、または応急的な工事に終始して根本的な河川整備計画になっていないのではないかと心配をしている。	小野川については、現時点では優先的に整備を実施する河川には位置づけておりませんが、流域の社会情勢の変化、自然状況・河川状況の変化、地域の意向等を踏まえ、適切に反映できるよう努めて参ります。
	駒沢川について、土砂の崩落や河川の浸食が進んでいる、中流区間、それから上流区間の護岸工事を大至急して頂きたい。	駒沢川については、施設等の整備が行われていない上中流区間の護岸整備を優先的に進め、実施時期等については地元関係者と調整を行いながら実施してまいります。
	駒沢川の治水代替え案については上中流区間を優先して、整備することについて早期に着手してもらいたい。なお、具体的な計画が決まれば、地元へ十分な説明を頂き、早急に河川改修に着手してもらいたい。また、下流区間の河川改良を要望します。	駒沢川については、施設等の整備が行われていない上中流区間の護岸整備を優先的に進め、下流区間の築堤工事やそれに伴う国道橋の架け替え等については、地元関係者と調整のうえ十分な説明を行い対応してまいります。
管理	釜口水門、横川ダム、箕輪ダム3つのダムがありますが、多目的で作られており、ゲート操作が連携をもって行われていたのではないかと考えており、箕輪町の松島地籍の堤防決壊はもっと現況に応じた原因究明とそれを解消する施策が盛り込まれる必要があると考えます。	河川の維持管理については、地域の特性を踏まえつつ、洪水による災害の発生防止、軽減、河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持を図りつつ、関係機関と連携を取りながら、また、天竜川本川の整備に影響がある箇所については、国と連携・調整を行い実施してまいります。
	小野川についてはH11年、18年と災害が発生している。1つの要因として、土砂の堆積により中州が発生し、河川敷内のアカシヤなどの支障木の繁茂により川幅が狭められ、流水面積が小さくなっているのではないかと。	土砂が堆積し洪水の流下の阻害となる等、治水上の支障となる場合は、環境に配慮しつつ堆積土砂の除去、立木伐採、草刈り等の必要な対策を河川愛護団体と協力して行ってまいります。
その他	平成18年の豪雨災害ですが、航空写真では小黒川流域には約70箇所くらいの崩壊地の存在が認められたとのことですが、小黒川全域を測量して頂き危険想定雨量時に災害が発生しそうな箇所を予測して特定して頂きたいこと、2つ目にその予測に基づいて長期的な護岸整備計画を懸案に盛り込んで継続的な整備を実施して頂きたい。	土砂災害の対策については砂防事業、治山事業等の対策が考えられますが、本河川整備計画については記載されていません。所管課と連携し災害の防止に努めて参ります。 また、小黒川については現時点では優先的に整備を実施する河川には位置付けておりませんが、正常な河川機能の維持のために必要な護岸の修繕等については、適切に行ってまいります。
	小黒川について全く目的を果たしていない巨大なコンクリートで出来た塊があります。これは水が流れない、魚が通れない魚道であります。一方この魚道は増水時には流れを妨げています。机の上ではなく現場をしっかりと見つめて頂き、限られた予算を有効に使うことをお願いします。	護岸等の河川構造物の変状、河川管理上支障をきたす場合は速やかに修繕等必要な対策を行います。 また、ご意見の趣旨を踏まえ環境等にも配慮した設計を行い、効率的・効果的な改修に努めてまいります。

天竜川水系伊那圏域河川整備計画(原案)に関する公聴会での意見及び県の考え方

項目	意見・質問	意見・質問に関する県の回答・方針等
その他	<p>釜口水門の操作について、本来川の水というのは河床を流れるものだと思っている。当然、岩石・石・砂等が河床を低い方へ流下する、それが自然の形だと思っているが、下部ゲートの操作について、整備点検の期間を今以上にきめ細かく短期間でやればある程度その辺のクリアが出来るのではないか。</p>	<p>釜口水門の操作については、諏訪湖釜口水門操作規則により下段ゲートの操作および点検・整備について定められているところですが、いただいたご意見につきましては関係機関と連携しながら検討してまいります。</p>
	<p>平成18年の災害について、災害誘因、災害を引き起こした降水量は現象を確率論で考えた時に何年に相当する雨であったかということ、インフラ整備等は基本的に100年に1度の現象に対応出来る様にという視点で整備されてきましたが、それに対してどうであったか。</p>	<p>本河川整備計画にあたっては各河川で想定した規模の洪水を安全に流下させることのできる治水安全度を確保することを目標として進めてまいります。</p>
	<p>1945年以降日本の土地利用状況が大きく変わり、特に以前耕作していた所が森林に変わったり、当時、小さかった森林が成長してその状況が変わってきている現象もあるが、どの様に河川整備計画に反映されているか見えない。</p>	<p>河川整備計画は、沿川の人口、資産の集積状況や現況の流下能力、過去の浸水被害等を考慮し、計画的に実施すべき具体的な河川工事および河川の維持について定めています。</p>
	<p>県は予算方針で事業によっては、中止になって災害を受けたという様な経緯もございます。技術者は責任を持ってその辺のことを改善していく必要があるかと考えております。</p>	<p>ご意見としてお受けしました。</p>
	<p>小野川の上流域の雨量、または河川の状況というものが正確に下流域につながるそういったシステムの構築そういったものが急がれるのではないかと思う。</p>	<p>各地に設置された雨量計等により雨量・水位情報をリアルタイムで収集し、関係機関に提供することにより、水防活動等の必要な対策への支援を迅速に行ってまいります。</p>
	<p>小野川の下流域は取り込まれていないが、是非、住民の方の心配を取り除くという意味からも河川整備計画に組み込んで頂きたい。</p>	<p>小野川については、現時点では優先的に整備を実施する河川には位置づけられておりませんが、流域の社会情勢の変化、自然状況・河川状況の変化、地域の意向等を踏まえ、適切に反映できるよう努めて参ります。</p>
	<p>駒沢川の上流区間では今までの砂防えん堤は埋まってしまっている。砂防えん堤の建設と駒沢川へ流入する小さな沢の治山えん堤および山腹工事をしっかりやって頂きたい。</p>	<p>本河川整備計画は、計画的に実施すべき具体的な河川工事および河川の維持について定めるものであることから砂防・治山事業については明記しておりません。 総合的な土砂管理に関しましては、関係機関と連携し、情報共有を図ってまいります。</p>
	<p>駒沢川の中流区間、上流区間の年度別の計画を早めに地元へ提出して頂きたい。今年度、実施される工事はどの程度か、今年度入ると聞いている測量はどのような状況か。</p>	<p>駒沢川については、施設等の整備が行われていない上中流区間の護岸整備を優先的に進め、計画に対しては地元関係者に十分な説明を行い、実施してまいります。</p>
	<p>駒沢川の利水案については、上水道について藤沢地区への代替え施設を求めて水源の調査を早急をお願いしたい。辰野町が行う利水代替え案については莫大な費用がかかると思います。この事についてまた、国、県の指導、助言等いただき、補助金等も必要であるかと思います。</p>	<p>本河川整備計画は、計画的に実施すべき具体的な河川工事および河川の維持について定めるものであることから利水については明記しておりません。 ご要望につきましては所管課および関係市町村と連携を図り、へお伝えします。</p>

